

環境新聞

発行所 環境新聞社

東京本社 ☎(03)3359-5371
〒160-0004 FAX(03)3351-1939
東京都新宿区四谷3-1-3
(第1富澤ビル)

大阪支社 ☎(06)6252-5895
〒541-0057 FAX(06)6252-5896
大阪市中央区北久宝寺町2-6-7

新規購読用 ☎(0120)1972-65
<http://www.kankyo-news.co.jp/>

振替口座 00150-5-20286
年間購読料 25,200円(税込み)

©環境新聞社 2011

東風 西風 せいふう とうふう

アントキノイノチー
ー。元有名プロレスラー
の名前と一瞬勘違いする
が、岡田将生さん、柴倉
奈々さんという旬な若手
俳優主演の映画のタイト
ル。原作はさだまさしさ
んで先月19日から全国公
開。過去の傷を引きずる
2人の若者が、遺品整理
業の仕事を通じて再生し
ていく姿を描く▼日本で
は高齢化と核家族化の急
速な進行により孤立死が
深刻化している。現在、
年間の孤立死件数は全国
推計で4万人を超え、今
後も増加傾向にある。そ
れに伴って、従来は家族
や親族が行っていた遺品
の整理・処分を代行する

業者、いわゆる遺品整理
業に依頼するケースが急
増している。遺品整理業
者によると、遺品は貴重
品、衣類、家具・家電、食料
品、思い出の品に大きく
分けられ、必要なものは
遺族に引き渡し、不要品
は処分する▼この不要品
の運搬・処分に当たって
は通常、一般廃棄物処理
業の許可がいる。しか
し、近年の需要の高まり
に伴い多種多様な企業が
遺品処理業に参入するよ
うになり、無許可で処分
を請け負う業者や不法投
棄が問題視されるよう
になってきた。こうした中、
法規制を順守できる専門
家の育成を目指す「遺品
整理認定協会」が発足し
た。遺品の不適正処分は
故人を冒瀆する行為。業
界の健全化に向けた活動
に期待したい。
(直)